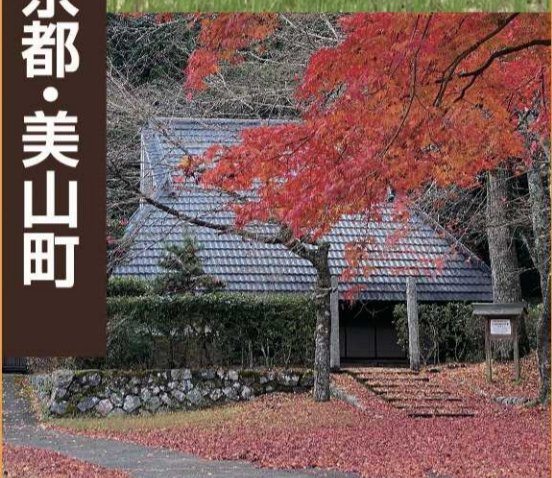




日本のふるさとの原風景 京都・美山町

歴史と自然、再発見！

宮島を歩く



Miyajima-Miyama
Walking Guide

宮島地区

ウォーキングコース 概要

至 大野ダム・舞鶴

至 諏訪神社・若狭

至 かやぶきの里・花背

至 京都縦貫道・京都市

和泉・静原コース

拡大図 P3-4

島・長谷・上司コース

拡大図 P5-6

宮脇・下吉田コース

拡大図 P7-8

原・板橋コース

拡大図 P9-10

① 和泉・静原コース (5.1km)

えびすや前 (0.3) → 渡橋 (0.4) → 歓楽寺 (0.2) → 六十六部堂 (0.9) → 静原公民館 (0.1) → えびす岩 (0.1) → 光照寺 [折返し] (0.4) → 菅原神社 (0.2) → 道標 (0.3) → 八幡神社 (0.3) → 美山中学校 (0.2) → 金光教 (0.3) → 夜泣き地藏・栄久院 (0.8) → しろやま浄化センター (0.6) → えびすや前 (GOAL)

② 島・長谷・上司コース (10km)

宮島振興会 (0.2) → 岩栖寺 (0.8) → 美山かやぶき美術館 (0.8) → 美山やすらぎホーム (0.4) → 神田の水 [折返し] (1.1) → 正願寺 (1.0) → 道寛稲荷神社 (0.4) → 蓮華寺 (0.4) → 妙見宮 (0.6) → 愛宕神社 (0.2) → 泉龍寺 (0.7) → 長谷運動広場 (0.3) → 山ノ神・字見橋 (0.5) → 本妙寺 (1.1) → 和泉農道 (0.8) → 出合橋 (潜没橋) (0.7) → 宮島振興会 (GOAL)

③ 宮脇・下吉田コース (4.6km)

道相神社駐車場 (0.1) → 道相神社 (0.4) → 玉泉寺・石地藏 [折返し] (0.5) → 旧宮脇三叉路左折 (0.5) → 忠魂碑 (0.2) → 頓乗寺 (1.0) → 下吉田大橋 (0.9) → 頓乗寺 (0.6) → ふりーくおおまる (0.4) → 道相神社駐車場 (GOAL)

④ 原・板橋コース (6.1km)

美山やまざと市 (1.3) → 放光寺 (0.5) → 三社・地藏堂 (0.1) → 神楽坂登口 (0.3) → 浄水場 (0.5) → 奥原 (2.1) → 遍照寺・五色椿 (0.8) → 板橋分校跡 [折返し] (0.4) → 海老坂峠登口 (0.1) → 美山やまざと市 (GOAL)

注) () 内数字はKm. 10m単位は四捨五入しています。

こちらのコースの他にも、宮島地区にはもう少しタフな「城山登山道」・「海老坂峠」・「神楽坂峠」の各ハイキングコースがあります。

日本のふるさとの原風景 京都・美山町

ふるさとの歴史と自然、再発見!

宮島を歩く

ウォーキングガイドマップ

四季折々、気軽に歩ける4つのコース。
楽しみながら学べるウォーキング!

CONTENTS

目次・利用ガイド	1
全コース図・距離	2
和泉・静原コース	3・4
島・長谷・上司コース	5・6
宮脇・下吉田コース	7・8
原・板橋コース	9・10
指定文化財・快適な歩き方	11

＜ご利用にあたって＞

- スタート・ゴール地点にはお車を駐車できる場所があります。他の利用者や業務にご迷惑にならないよう配慮してお停めください。複数台駐車される場合は事前に申請のうえご利用ください。
- 社寺の内部を見学希望される方は、必ず事前にそれぞれの総代さんや関係者の方に許可を得てください。万一ご不在や不明の場合は宮島振興会までご連絡ください。宮島振興会で中継ぎをさせていただきます。
- ウォーキング時、無断で私有地に入ったりゴミを捨てるなどの行為は絶対にやめましょう。また交通ルールを守って安全第一でお楽しみください。

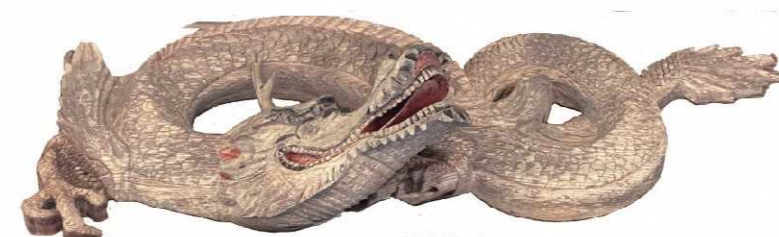
表紙写真 道寛稲荷神社 (長谷) 歓楽寺 (静原) 本妙寺 (上司) 菅原神社 (静原) 長谷運動広場 (長谷) 夷岩 (静原) 道相神社 (宮脇) 不動尊 (原) 美山かやぶき美術館 (島) 本妙寺薬師如来坐像 (上司) 字見橋 (上司) 泉龍寺 (長谷) 頓乗寺 (下吉田)

目次写真 放光寺 (原) 遍照寺 (板橋) 地藏堂 (原) 道相神社本殿 (宮脇) 正願寺 (島) 八幡神社 (静原) 蓮華寺 (長谷) 光照寺 (静原) 六十六部堂 (静原) 不動尊 (原) 地藏 (長谷) 頓乗寺 (下吉田) 本妙寺 (上司)

凡例 地図記号 寺 神社 消防署 交番 学校 トイレ かやぶき民家 バス停

参考文献 美山町誌上下巻、心のふるさと美山の文化財、美山伝承の旅、長谷区史、京都府北桑田郡史、京都を学ぶ [丹波編]、美山歩こう会資料

宮島地区は明治二十二年、町村制の施行により九つの集落が一つになり「京都府北桑田郡宮島村」として発足しました。その後、昭和三十年に五つの村が合併し美山町が発足。この時、宮島村としては廃止となりましたが、その頃より「宮島」は美山町の中心地として栄え現在に続いています。また古くは平安時代より若狭と都を結ぶ主要な街道(西の鯖街道と呼ばれる)として人馬の往来が多く、市場、茶屋、海老坂峠や神楽坂峠として言い伝えなど、随所にその名残があります。このウォーキングマップに掲載されているコースには、さらに古い過去やこのような地域の歴史をたどれる史跡や社寺を巡ることができるようになっています。四季折々、丹波山系に包まれ澄んだ由良川の流れる作りだす豊かな自然風景と、普段歩くことのない道を、そして歴史を、このガイドマップを手にせび楽しみながら歩いてみてください。



和泉・静原コース 5.1km

えびすや前 (START) - (0.3) - 渡橋 - (0.4) - 歓楽寺 - (0.2) - 六十六部堂 - (0.9) - 静原公民館 - (0.1) - えびす岩 - (0.1) - 光照寺 [折返し] - (0.4) - 菅原神社 - (0.2) - 道標 - (0.3) - 八幡神社 - (0.3) - 美山中学校 - (0.2) - 金光教 - (0.3) - 夜泣き地蔵・栄久院 - (0.8) - しるやま浄化センター - (0.6) - えびすや前 (GOAL)

至上司・大野地区



■光照寺 Kohsyoji-Temple
臨濟宗相国寺派。元亀元年(1570年)、今宮城に居住していた川勝光照が仏門に帰依し、京都の相国寺から周鉄和尚を迎え本寺を開山した。川勝光照の座像は市の文化財指定。



光照寺
もく庵 ●
えびす岩 ●

■えびす岩 Ebisuwa
若狭から都に出る重要な街道沿いにあり、この辺りはかつて若狭からの海産物と都から来た物産品を売買する市場だった。商売繁盛を願い「えびす岩」が設けられた。



菅原神社
Sugawara-Shrine 卍

■菅原神社
「静原天満宮」とか「二ノ宮」ともいわれる。学問の神様と崇められた菅原道真の弟とも子ともいわれている「慶能法師・野々村頼房」を祀っている。



八幡神社
Hachiman-Shrine 卍

静原の厄神さんといわれ、厄年を迎えた近隣の住民がお参りする。菅原道真の息女、知愛子も祀っているため知愛権現ともいわれる。

ふるさとの民話・1 夜泣き地蔵

若狭へ向かう旅の女が、和泉にさしかかった時、背中の赤ん坊が発病し、泣きじゃくりながら亡くなった。悲しみのあまり念仏三昧に明け暮れていたら、菩薩様が夢の中に現れ、「この辺りにお地蔵さんを祀りなさい」とお告げがあった。女が建てたこの地蔵にお参りすると、子供の夜泣きが止まると評判になり、その効き目はあらたかだという。



■栄久院 Eikyuin-Temple

臨濟宗妙心寺派。本堂の前には木造の地蔵菩薩半跏像を祀る庫がある。



栄久院

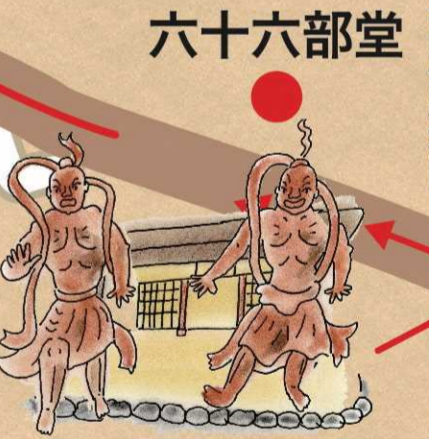
夜鳴き地蔵 Yonaki-jizo

栄久院の入口に祀られている。もともと和泉下のバス停留所近くにあったが、道路改修によりお寺に移されたと伝わる。



■六十六部堂 Rokubu-do

法華経を66部書き写し、全国66霊場に納め歩いた僧が、この地に来たとき腹痛を起こし巡業が困難となったが、地元住民の看護で治り、供養塔を建立したと伝わる。



六十六部堂

■歓楽寺 Kanrakuji-Temple

真言宗泉涌寺派。北桑西国霊場一番の札所。桓武天皇がご病氣の際に御祈願され、三日後に回復されたところから勅願所となり「歓楽寺」の号を賜ったと云われる。旧歓楽寺は中村城に隣接していたが、明治18年の大火により現在の場所に建てられた。鎌倉時代の慶派仏師護連法師作である山門の金剛力士像(京都府指定文化財)は必見。



歓楽寺 ●金剛力士像

ふるさとの民話・2 湧き出る泉

今では廃寺となった般若寺には、豊富な水量の泉があった。当地では病人の死期が近づくと必ずこの水を汲んできて病人の口に含ませると、安らかな表情をして息を引き取るとい伝えられていた。これが和泉の地名の起こりといわれている。般若寺にあった本尊の地蔵菩薩半跏像は、栄久院境内の地蔵堂に納められている。



出合橋 Deaibashi-bridge

しるやま
浄化センター ●
農業集落排水処理施設

みやま保育園 ●

美山小学校
Miyama Primary School

START GOAL

●美山えびす屋
エビスウッズガーデン

和泉大橋 Izumi Ohashi-bridge

●宮島振興会

美山郵便局
Miyama post office

368

至 下吉田・宮脇・板橋・原

渡橋
Wataribahi-bridge

城山登山口



島・長谷・上司コース 10km

宮島振興会 (START) - (0.2) - 岩栖寺 - (0.8) - 美山かやぶき美術館 - (0.8) - 美山やすらぎホーム - (0.4) - 神田の水 [折返し] - (1.1) - 正願寺 - (1.0) - 道寛稲荷神社 - (0.4) - 蓮華寺 - (0.4) - 妙見宮 - (0.6) - 愛宕神社 - (0.2) - 泉龍寺 - (0.7) - 長谷運動広場 - (0.3) - 山ノ神・字見橋 - (0.5) - 本妙寺 - (1.1) - 和泉農道 - (0.8) - 出合橋 (潜没橋) - (0.7) - 宮島振興会 (GOAL)

至 大野地区

至 鶴ヶ岡地区

至 平屋地区



③山ノ神 Yamanokami
古くから山は信仰の対象であったが、特にこの辺りでは山林労務に依存するところが多く、山は大きな経済的収入源でもあった。このため、山は神聖なものとして崇められてきた。祠はなく、神木によって囲まれた森厳な神様。山ノ神は随所にあり、それぞれ集落ごとに祀られている。

⑩泉龍寺 Senryuji-Temple
臨済宗京都妙心寺の末寺。慶安元年(1648年)、川谷の菅生吉左衛門道基の開山。園部藩主小出信濃守の位牌所であった関係で境内も広く、毎年1回小出藩主の臨山があったと伝えられている。秋には庭先の紅葉が美しい。

⑪出合橋 Deai-Bridge
由良川本流と棚野川の合流点にある二橋の総称。島区に通じる橋と和泉区に通じる橋がある。いずれも潜没橋。昔は木造の流れ橋であったが、大野ダム建設時に現在の鉄筋コンクリート橋が新設された。

⑤妙見宮 Myokengu-Shrine
日蓮宗蓮華寺の境内による妙見講が管理され祀られている。古くは街道沿いにあったが、大正末期から昭和初期にかけての道路改修で、道路が掘り下げられたため、現道から見て高い場所に移転した。

⑥本妙寺 Honmyoji-Temple
日蓮宗。境内より少し離れたところに、業師堂と番神堂がある。お寺は公民館と併用され集落の拠り所となっている。境内にあるイチヨウの大木が美しい。

⑦字見橋 Azami-Bridge
長谷区と上司区の交流のために掛けられた橋。長谷地内に圃場を持ち耕作していた上司の人が、圃場を見に行く橋として「字見橋」と名付けられた。

⑧愛宕神社 Atago-Jinja-Shrine
泉龍寺の開山者である菅生道基が泉龍寺の別院として丸山の頂上に梵鐘を建て、その後ここに神社をお祀りしたと伝わる。絶妙の音色の梵鐘は三百年近く親しまれてきたが、太平洋戦争末期に供出された。戦後檀家の寄進により再鑄造され現在に至る。

①道寛稲荷神社 Dohkan-Inari-Shrine
長谷区公民館の前の旧長谷街道沿いにある神社。明治時代の建立。

②地藏さん Ojizosan
道寛稲荷神社近くの古杉の大木の根元に祠があり、七体の石地藏さんがそれぞれに前掛けを着けている。子供の出産や病氣、怪我など子供の安全にあらたかなご利益があると伝わる。

③恵比寿神社 Ebisu-Jinja-Shrine
旧長谷街道沿いに面する旧澤田村(泉龍寺境内)の神社。大きな岩を抱えた祠。

④蓮華寺 Rengeji-Temple
日蓮宗妙願寺の末寺。文禄3年(1594年)、妙願寺第12世日亮聖人の巡錫時に創建。鐘樓は明治22年建立。梵鐘は太平洋戦争で供出されたが、昭和33年壇中によって再度寄進された。

■ 城山(標高403.7m) (城山登山道)
野々村荘を支配した 秦河勝 (はたのかわかつ) を祖とする川勝氏は、室町時代には足利将軍に仕え、のちに明智光秀が丹波へ侵攻するとこれに従って活躍したとの伝承がある。川勝氏は戦国時代の天文年間(1532-55年頃)にこの頂上に島城を築き本城とし、八木の守護内藤氏、京北の宇津氏、篠山の波多野氏など、丹波国の勢力と対峙、その後、織田信長や豊臣秀吉に従い、後には徳川氏に仕えたといわれる。島城は4つの主要郭と段郭から構成され、現在本丸跡には展望台が建てられ集落を一望できる。また虎口や敵状堅堀も確認することができ堀切や切岸がよく残っている。静原の歓楽寺南と美山やすらぎホーム南東側に登山道があり古くから山頂までのハイキングコースとなっている。

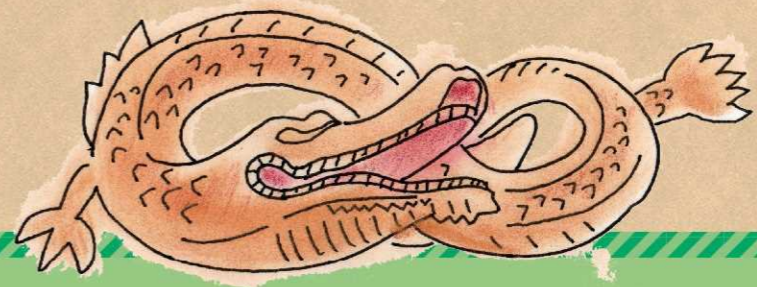
美山かやぶき美術館 Miyama Kayabuki Art Museum & Folklore Museum
築150年のかやぶき民家を活用した美術館。イベントやワークショップも度々開催される。郷土資料館も併設されており、農具等の展示や懐かしく風流な「水琴窟」がある。

美山やすらぎホーム
元宮島小学校の跡地。特別養護老人ホーム。

神田の水 Jinden-no-Mizu
古来よりどんなに日照り続きでも枯れることのない湧水。連日汲みにくる人が絶えない名水。

宮脇・下吉田コース

道相神社駐車場 (START) - (0.1) - 道相神社 - (0.4) - 玉泉寺・石地藏 [折返し] - (0.5) - 旧宮脇三叉路左折 - (0.5) - 忠魂碑 - (0.2) - 頓乗寺 - (1.0) - 下吉田大橋 - (0.9) - 頓乗寺 - (0.6) - ふりーくおおまる - (0.4) - 道相神社駐車場 (GOAL)



ふるさとの民話・3 吼える龍

頓乗寺に伝わる民話。村人が大雨で流された本堂の建て直しを若狭の大工に頼んだ。働き者の大工は、毎晩寝泊りした部屋で龍を彫っていた。本堂完成後、大工は若狭に帰ったが、龍は未完成のまま部屋に置かれていた。その部屋からなぜか毎日コトコトと音がするので、村で「そりゃあ、彫りかけの龍が吠えているのだ」と噂になり、近くの大工に頼んで仕上げてもらうことにした。それはそれは見事な龍が完成し、音もなくなった。この龍は今でも頓乗寺の向背に納められている。



至島・和泉・静原・上司

至道の駅・かやぶきの里

■頓乗寺 Tonjoji-Temple
浄土真宗大谷派。
下吉田トンネル前にある。
「吼える龍」の話が語り継がれる。

■忠魂碑 Chukon-hi
日清・日露・大東亜戦争で亡くなられた宮島出身戦没者の慰霊碑。大正5年9月、帝国在郷軍人會宮島分會で建立された。道路から石段と山道をおよそ10分余り。碑からは宮脇・下吉田の集落が一望に見渡せる。

■道相神社 DosoJinja-Shrine
1,500年前の創建と伝わる。度々の火災で焼失し、現在の本殿は、文政5年(1822年)の再建。氏子は宮島地区8集落と平屋地区全集落。7~8年ごとに行われる秋の大祭では、曳山、天狗と獅子、おかめ・ひょっとこなどの道化芸、勇壮な俵振りで構成される神樂が奉納される。



●ふりーくおおまる Freek-Ohmaru
土日祝限定の地元野菜等直売所

START GOAL P

道相神社

玉泉寺 石地藏

■玉泉寺 Gyokusenji-Temple
浄土宗。寛永10年(1633年)、長誉全我の開基。境内に多聞庵があり、木造の多聞天像が祀られている。

■石地藏 Ishijizo
玉泉寺境内。
家型の石囲いの中に祀られている。

●番人坂 Banjinzaka

オーベルジュ・ナカザワ Auberge Nakazawa

至原・板橋~園部・京北

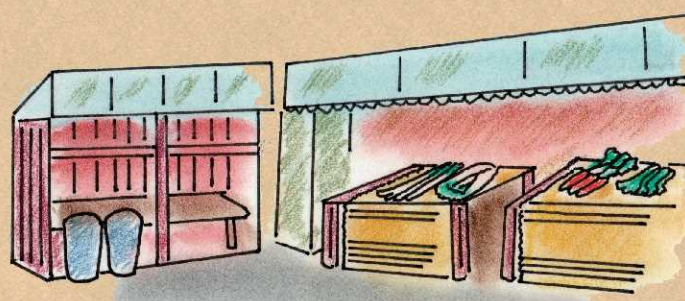


原・板橋コース 6.1km

美山やまざと市 (START) - (1.3) - 放光寺 - (0.5) - 三社・地藏堂 - (0.1) - 神楽坂登口 - (0.3) - 浄水場 - (0.5) - 奥原 - (2.1) - 遍照寺・五色椿 - (0.8) - 板橋分校跡 [折返し] - (0.4) - 海老坂峠登口 - (0.1) - 美山やまざと市 (GOAL)



古道-海老坂
EbisakaTouge
日吉町四ツ谷集落まで
およそ1時間



美山やまざと市
Miyama-Yamazato-Ichi
毎週日曜日午前中開催。
農家手作り旬の野菜や加工品、
たこ焼きや地玉子、美山の特
産品等が並ぶ。竹細工教室も
開かれている。

海老坂峠口

START
GOAL

板橋大橋
Itahashi-Ohashi

発電所跡

えびさか養鶏場

宮島小学校板橋分校跡
(現 板橋公民館)
Miyajima-primary school
Itahashi-branch school site.

遍照寺 Henshoji-Temple ● **五色椿 Goshiki-tsubaki**
真言宗高野山・宝城院の末寺。北桑西国観音霊場第12番の札所。
天治三年(1128年)に智月法師が開いた。境内には五色の花が咲く
椿が美しい。

愛宕さん Atago-sya

ふるさとの民話・4 玉岩地藏 (海老坂峠)

旅の僧が、若狭の国、小浜で病の父を看病する孝行娘に出会い、その娘に石地藏を置いていった。娘は老僧に代わって地藏を背負い諸国を巡礼する比丘尼となった。比丘尼は生死を彷徨う病人を救い、洪水や疫病に苦しむ人々を助け、行く先々のお堂や社を直し、道をつけ、橋をかけ、先々で喜ばれ感謝された。遂に諸国を巡り終え、小浜を目指して最後の旅路を急ぐ途中、四ツ谷を過ぎ海老坂峠にさしかかった比丘尼は休むため腰を下ろしようとしたとき、不思議な夢を見た。かの老僧が出てきて「汝の務めは終わった。故郷へ帰り余生を送るべし」と。夢から覚めた比丘尼が地藏を背負おうとしたが地藏さんは岩の如く動かない。とうとう背負うことを諦めた比丘尼は海老坂に小さな祠を立て、そこに安置して小浜へ帰った。このお地藏さんは海老坂峠を四ツ谷側に少し下がったところに玉岩地藏として祀られている。比丘尼は小浜で八百歳まで生き続け、周りの人たちはその長命と徳を慕って「八百比丘尼」と名付けたという。

ふるさとの民話・5 神楽堂 (神楽坂峠)

旧神楽坂は、もと若狭街道として人馬の往来も頻繁であった。この峠に神社があるわけではないのに、鳥居が立っている。それにはこんな伝説がある。500年ほど前、火災が頻々に起きていたが、道相神社の神のお告げに従い、町内で唯一愛宕山を遥かに拝むことができる場所で神楽を奏して祈願したところ火災が鎮まった。以後、毎年ここで神楽を奏で、お参りする習わしとなったが、いつかこの神楽堂も朽ち果て、鳥居も傾くようになった。その頃から再び火災が頻々に起こるようになったため、新たに地元住民が鳥居を寄進し、神楽を毎年1回奏じて祈願するようになったところ、江戸時代を通じ当地域で大火はなかった。人々は愛宕さんの霊験のあらたかさを改めて知ったことである。

放光寺 Hokoji-Temple

曹洞宗園部徳雲寺の末寺。本尊は地藏菩薩。
天正七年(1579年)園部徳雲寺の九磨和尚により開山。

● **分水嶺**

この辺り
北側に降る雨は日本海へ
南側に降る雨は太平洋へ。



金比羅・稲荷・愛宕社

● **地藏堂**

● **神楽坂峠口**

Hara-Ohashi
原大橋

Hara-River
原川

● **原公民館**
Hara public hall

● **発電所跡**

● **簡易水道浄水場**
filtration plant

Shin-Hara-Ohashi
新原大橋

● **神楽坂トンネル**
Kagurazaka Tunnel

■ **地藏堂 Jido-do**

神楽坂登山口近くにある。地藏菩薩半跏像(鎌倉時代の寄木造玉眼)が安置されている。この像は伝承によると、若狭から都に運ぶ予定が、鯖街道の道中、神楽坂峠にあるこの地に、何かのはずみで祀られたと伝わる。平成25年に像が修復された。

● **奥原 (通称)**

■ **不動尊 (大瀧不動明王)**

原峠の途中から分岐する原谷林道を数百メートル行った所に祀られています。毎年7月28日には原集落の人々がお参りして平安を祈願します。

至 原峠・不動尊

丹波広域基幹林道

京丹波町下山～左京区花背 (全長 65.4km)

● **神楽堂跡**
Kagura-do site

● **古道-神楽坂**
Kagurazaka-Touge

日吉町佐々江集落まで
およそ1時間

至 園部・京北

宮島地区にある指定文化財

宮島地区には、京都府や南丹市が指定した歴史的、芸術的に価値の高い文化財が、いくつか大切に保存されています。ウォーキングの途中にひととき足を止め、古の時や背景、文化財の生い立ちに思いを馳せるのもいかがでしょう。

※屋内にある文化財の見学は、必ず事前に申請し許可を得て、管理されている方立ち合いのもと、ご見学ください。

京都府指定文化財

名称	種別	所在地
木造金剛力士立像	美術工芸品	歓楽寺(静原)
道相神社本殿・拝殿	建造物	道相神社(宮脇)
道相神楽	無形民俗文化財	道相神社神楽保存会(宮脇)

南丹市指定文化財

名称	種別	所在地
木造薬師如来坐像	美術工芸品	本妙寺(上司)
木造阿弥陀如来坐像	美術工芸品	泉龍寺(長谷)
木造地藏菩薩半跏像	美術工芸品	栄久院(和泉)
木造川勝光照像	美術工芸品	光照寺(静原)
道相神社のカヤ	天然記念物	道相神社(宮脇)

快適な歩き方

